

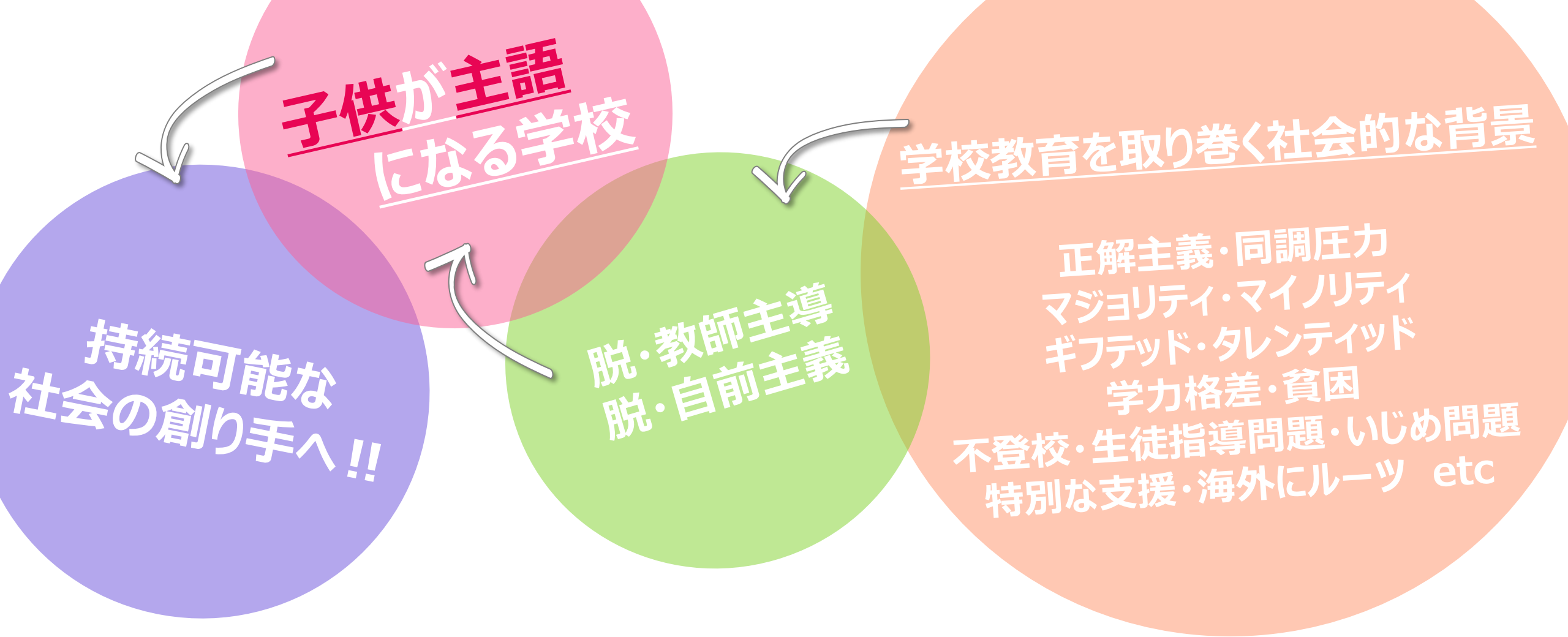


「子供が主語になる学校」 新曽小 アップグレード・プロジェクト

～インクルーシブ教育を土台とした、個別最適な学び×協働的な学び～



戸田市立新曽小学校



インクルーシブ教育・個別最適な学び×協働的な学び

異なる背景や価値観を持つ、多様な子供たちがいることを前提とした学びの変革を行うことで、「**子供が主語**となる学校」を目指し、持続可能な社会の創り手の育成につなげる。

今年度の取組

R7

1 個別最適な学び×協働的な学び



目指す児童像を「**自らの学びを自分で調整する児童**」「**ともに学ぶことのよさを実感する児童**」と設定し、各教科・領域の見方・考え方を働かせながら、教科の本質を捉えた授業改革を推進し、**子供たち一人一人が、将来につながる自立した学び手へ。**

3 非認知能力の育成

「セサミストリート・カリキュラム」や今年度から導入したフランクlin・コヴィー・エデュケーション・ジャパン株式会社と連携した「リーダー・イン・ミー」により、子供たちの**内なるリーダー性や主体性等**を育む教育活動を実践。



2 多様性の理解



多層型支援システムの理解を深め、異なる背景や価値観を持つ、**多様な子供たちがいることを前提**とした学びや支援方法の改善を図り、**誰一人取り残さない学校**へと推進。

※ 多層型支援システム：多様な児童の教育的ニーズに応えるために3層で支援を行う教育支援の方法。

本プロジェクトで実現したいこと

伴走型支援	学びの環境整備
「脱・自前主義」 産官学と連携し、専門的知見をフル活用することで教師の支援スキルの向上と個別最適な支援を実現する。 ○ 授業観察とも組み合わせた伴走型の支援を定期的 に実施し、教師の専門性を向上させ、個に応じた支 援を実現するとともに、専門家による児童へのフィード バック。 ○ 多層型支援システム構築のための会議や研修におけ る支援・助言。	「脱・教師主導」 「学びに向かう力」「自己調整力」「協働力」を育むことで、 子供たち一人一人が自立した学び手へと変容する。 ○ 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に促すため、 誰もが学びやすい環境整備を推進。 ・多目的ホールでは、対話を促す「大型ディスプレイ」、個々やグループ で学びに対応できる可動性の高い「学びスペース」等を設置。 ・各教室等では、個別学習の集中度が増す「イヤーマフ」や「個別ブー ス」、読みやすさの助けとなる「リーディング・ルーラー」等を整備。

「子供が主語なる学校」を一緒に創りませんか。御協力よろしくお願いします。